

全自動身長体重計 Model: HM-100

取扱説明書

この度は全自動身長体重計HM-100をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みの上、お使いください。

1. 製品仕様

入力電圧: AC100V 50/60Hz
消費電力 待機時 2.5W 測定時 8.6W
測定範囲 身長: 85.0~200.0cm(± 0.1 cm)、体重 5.0~200.0kg (± 0.1 kg)
お勤めの温度/湿度 10℃~35℃/60% 以下

2. 製品構成

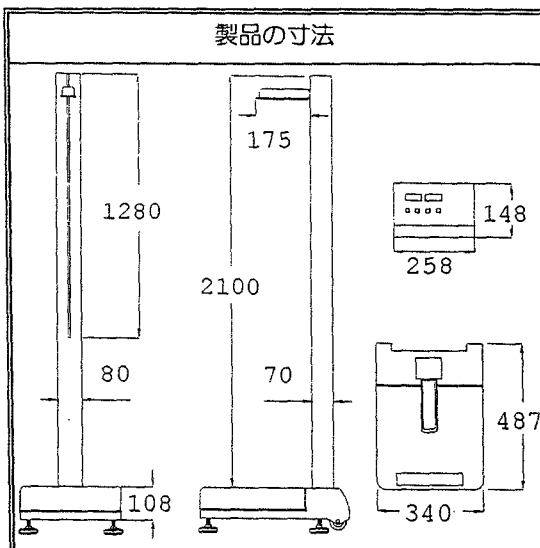
体重計 1 セット
身長計 1 セット
操作パネル 1 セット
モニターコード 1 ケ(3.5m)
ヒューズ(3A) 1 ケ
電源コード 1 ケ

3. 設置環境

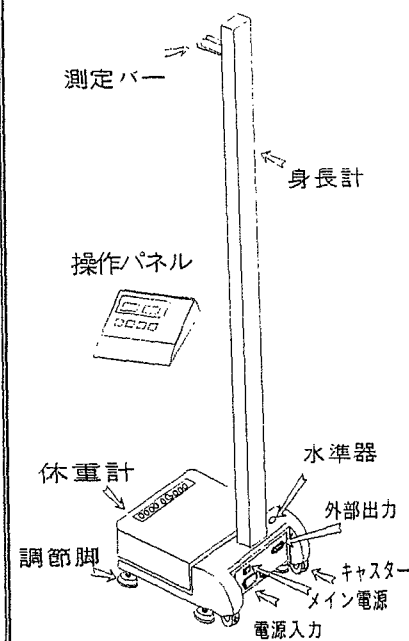
周囲環境は温度変化が少ない場所。
直射日光を避けて、
ほこりの少ない場所。
周囲からの激しい振動がない場所。

4. 組立順序 (包装を開けた後)

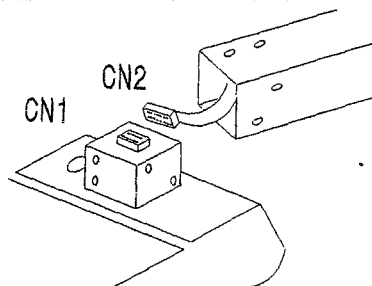
製品の寸法



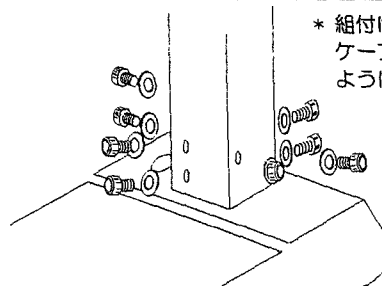
製品の構成



組立1 身長計CN1と体重計CN2をつなげます。

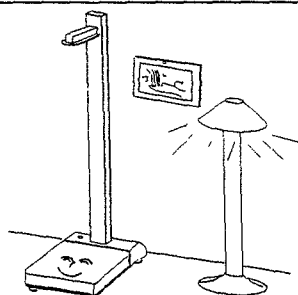


組立2 身長計を体重計に立てた後、ボルトを締付けます。

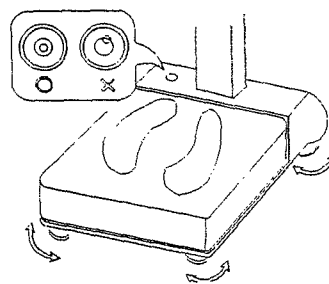


* 組付け時、コネクターケーブルをはさまないようにしてください。

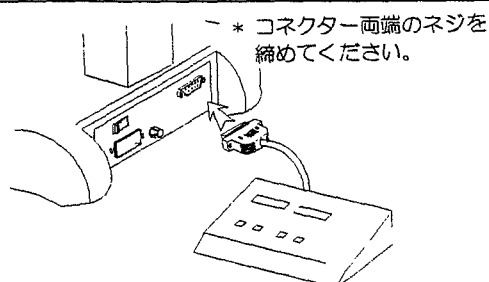
組立3 機器を安全な壁の側に設置します。



組立4 調整ネジを回し、機器を水平にします。

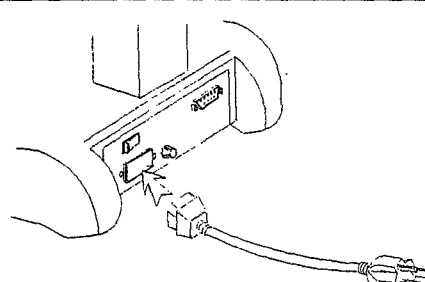


組立5 操作パネルのコネクターを外部出力につなげます。



* コネクター両端のネジを締めてください。

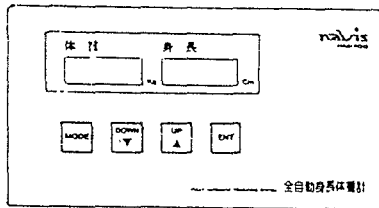
組立6 電源を確認した後、電源ランプを体重計の電源コンセントにつなげます。



☆ 組立を完了してから、全体の組立状態ならびに接続をご確認の後、メイン電源を入れて下さい。

5. 測定準備

以下、操作パネルにより、操作を行ってください。



操作パネルの配置図

- ☞ 体重計の電源スイッチを入れます。
- ☞ 身長計が自己診断のため、一回上下します。
- ☞ 体重、身長表示部に(0.0)が表示されると、測定が可能です。

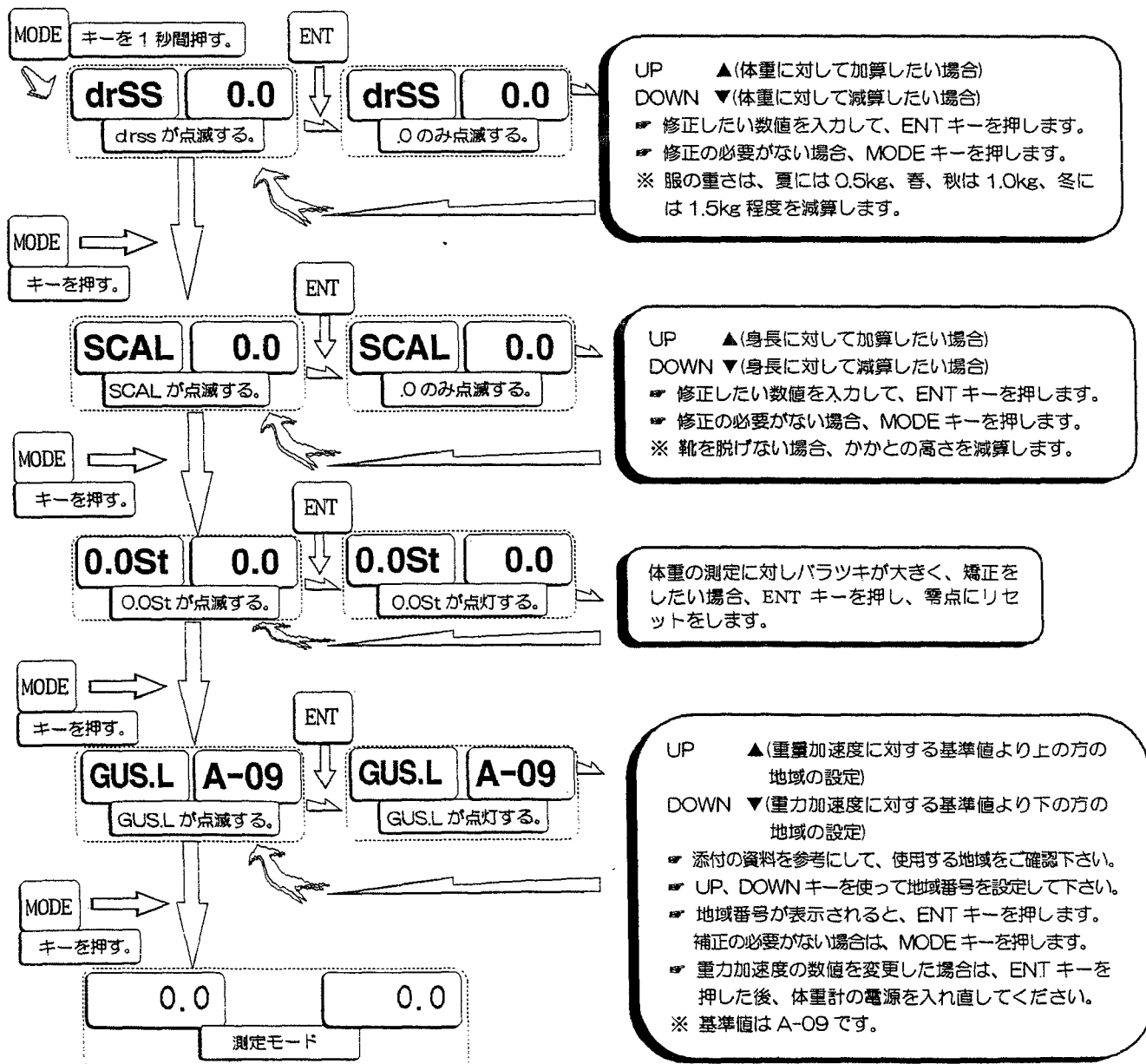
6. 修正モード

下記の手順は、体重・身長を測定する場合に、測定値に対して修正(服の重さ、靴の高さなど)をしたい値を加減算するための機能です。必要がなければ、操作する必要はありません。

モードキーを押して、修正モードに入ってから、20 秒以内に次のキーの入力がない場合は、修正モードはキャンセルされて測定モード〔 0.0 0.0 〕となります。

修正モードに入ってから、体重表示部に下記の文字が表示されます。

drSS	体重に対する修正を行います。(範囲 -5.0~5.0)
SCAL	身長に対する修正を行います。(範囲 -5.0~5.0)
0.0St	秤または体重に対する零点補正をしたい場合に行います。
GUSL	使用地域の重力加速度により、補正を行えます。



7. 測定方法

- ☞ 靴を脱いで足の形に合わせてお乗りください。(背筋を伸ばしてお立ちください。)
- ☞ 体重測定が始まります。
- ☞ 測定が始まると、呼吸を整えて体重測定が安定するよう静かにお立ちください。
(この時、体が動くと、体重測定に時間がかかります。)
- ☞ 体重測定が終わると同時に、表示部に体重が表示されます。
- ☞ 身長測定を始めます。この時、測定者はきちんと姿勢を正しくしてください。
- ☞ 身長測定バーが降りて測定者の頭に触れると、自動的に上がり身長の測定値を表示します。
- ☞ 測定者は台から降りてください。
- ☞ 測定値は約30秒間表示をします。表示中でも次の測定者が乗れば、測定が可能です。

8. 安全にご使用いただくために

— ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。



危険 感電事故を避けるために

- (1) 漏洩による重傷事故を避けるために必ずアース線を接続してください。
- (2) 電源コードは、足、運搬車などの車輪で踏まないようにしてください。
- (3) ネジ止め部は、絶対に外さないでください。
- (4) 電源プラグの抜き差しは、プラグの樹脂部を持って確実におこなってください。



危険 火災、感電事故を避けるために

万一煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。

すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。



警告：傷害、損害事故を避けるために

- (1) 計量部に乗る際は滑ったり、足を引掛けないように注意してください。
- (2) 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (3) 計量部のカバーを外し、内部をいじらないでください。
- (4) はかりの持ち運び、移動の際は支柱を持ち上げないでください。



注意 製品を損傷させないために

- (1) 表示部、キー部を爪や先の尖ったもので押さないでください。
- (2) 電源電圧、使用環境を遵守してください。
- (3) ひょう量以上の物を載せないでください。
- (4) 計量部に衝撃を与えないでください。
- (5) 表示部または計量部に水をかけないよう注意してください。



注意：はかりの性能を維持させるために

- (1) 振動を発生する器具類の近くに設置しないでください。
- (2) 直射日光の当たる場所や冷暖房機の風が当たる場所には設置しないでください。
- (3) 丈夫な床、台上に設置してください。
- (4) 使用温度範囲(0~40℃)以外では使用しないでください。



注意：当測定計は、計量法で定める取引き、もしくは証明に使用する事は出来ませんので、ご注意ください。

9. エラー処理

システムの自己診断または動作中にエラーが発生する場合は、表示部に該当するエラー番号が表示されます。この時は下記の事項を参照して処理をお願い致します。

表示内容	エラーの内容	処置の方法
表示が出ない。	測定器に電源が入っていない。	電源スイッチを切った後、電源コードの配線、ヒューズを点検する。
ERR-1	身長計の測定バーが上下の位置で動かない。	測定器と操作パネルをつなげるコネクターやケーブルを点検する。
ERR-2	身長測定値が正常でない場合。	測定器と操作パネルをつなげるコネクターやケーブルを点検する。
ERR-3	異常値が表示された場合。	内部メモリーの不良で交換が必用です。
ERR-4	電源を印加した時、体重表示が(0.0)でない場合。	体重計の上に物が乗っていないかを確認した後、電源を入れ直す。
ERR-5	体重測定の際、測定値が大きすぎたり、正常でない場合。	電源を入れ直す。

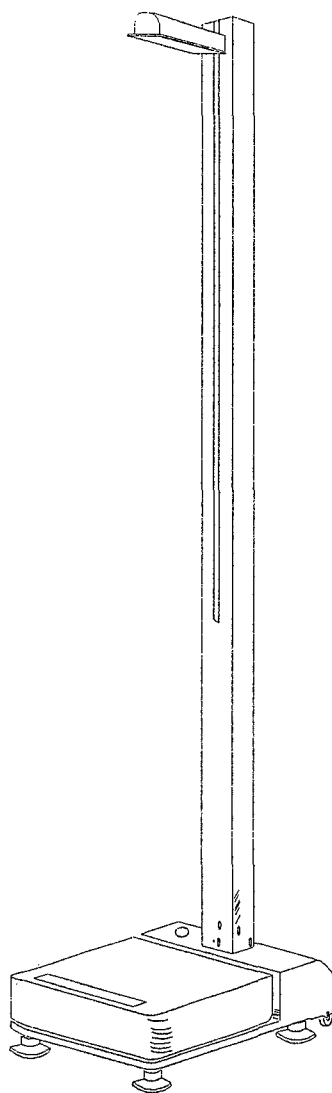
※ エラーは再度電源を入れ直すと、再動作が可能です。上記処理を行っても正常に動作しない場合は、内部の異常ですので、ご購入先へご連絡ください。

《 地域別の重力加速度 》

使用地域の区分	表示部の選択	地 域	重力の加速度の大きさ (メートル毎秒毎秒)
一区	A-01	釧路市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、紋別市、根室市、留萌支庁管内、宗谷支庁管内、網走支庁管内、釧路支庁管内及び根室支庁管内	9.806
二区	A-02	札幌市、小樽市、旭川市、夕張市、岩見沢市、美瑛市、芦別市、江別市、赤平市、士別市、名寄市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、恵庭市、石狩支庁管内、後志支庁管内、空知支庁管内及び上川支庁管内	9.805
三区	A-03	函館市、室蘭市、帯広市、苫小牧市、登別市、伊達市、渡島支庁管内、檜山支庁管内、胆振支庁管内、日高支庁管内及び十勝支庁管内	9.804
四区	A-04	青森県	9.803
五区	A-05	岩手県及び秋田県	9.802
六区	A-06	宮城県及び山形県	9.801
七区	A-07	福島県、茨城県及び新潟県	9.800
八区	A-08	栃木県、富山県及び石川県	9.799
九区	A-09	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都(八丈支庁管内及び小笠原支庁管内を除く。)、福井県、京都府、鳥取県及び島根県	9.798
十区	A-10	神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県及び香川県	9.797
十一区	A-11	東京都(八丈支庁管内に限る。)、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県及び大分県	9.796
十二区	A-12	熊本県及び宮崎県	9.795
十三区	A-13	鹿児島県(名瀬市及び大島郡を除く。)	9.794
十四区	A-14	東京都(小笠原支庁管内に限る。)	9.793
十五区	A-15	鹿児島県(名瀬市及び大島郡に限る。)	9.792
十六区	A-16	沖縄県	9.791

全自動身長体重計 MODEL:MX-150

取扱説明書



この度は、全自動体重計 MX-150 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

当製品は、お客様の健やかな生活を願い、健康へのニーズに応えるために、最新のテクノロジーを利用しております。

正しくご使用いただくために、この取扱説明書を良くお読み下さい。

お読みになられた後も、大切に保存してください。

《 目 次 》

項 目	ページ
1.安全にお使いいただくために	1
2.製品構成と仕様	2
3.ご使用前の準備・設置方法	3～5
1) 包装の解体	
2) 設置方法	
3) 操作パネル	
4) 測定準備	
4.動作モード	6
1)機能	
5.使用方法	7～9
1) 測定方法	
2) 修正方法	
6.判定基準	10
7.案内及び判定ランプ	10
8.プリンタの様式	11
9.エラー処理	12
10.アフターサービス	12

1. 安全にお使いいただくために

危険の程度、内容については下記のように定義しております。

-  **危険** : この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の恐れがある内容を示しております。
-  **警告** : この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受ける恐れがある内容を示しております。
-  **注意** : 保守または矯正しないと製品自体に損傷を与える恐れがある内容を示しております。

この製品のご使用前に以下の「事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

-  **危険** : 感電事故を避けるために
 - (1) 漏洩による重傷事故を避けるために必ずアース線を接続してください。
 - (2) 電源コードは、足、運搬車などの車輪で踏まないようにしてください。
 - (3) ネジ止め部は、絶対に外さないでください。
 - (4) 電源プラグの抜き差しは、プラグの樹脂部を持って確実におこなってください。

-  **危険** : 火災、感電事故を避けるために
万が一煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して購入先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。

-  **警告** : 傷害、損害事故を避けるために
 - (1) 計量部に乗る際は、滑ったり、足を引掛けないように注意してください。
 - (2) 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - (3) 計量部のカバーを外し、内部をいじらないでください。
 - (4) はかりの持ち運び、移動の際は、支柱を持上げないでください。

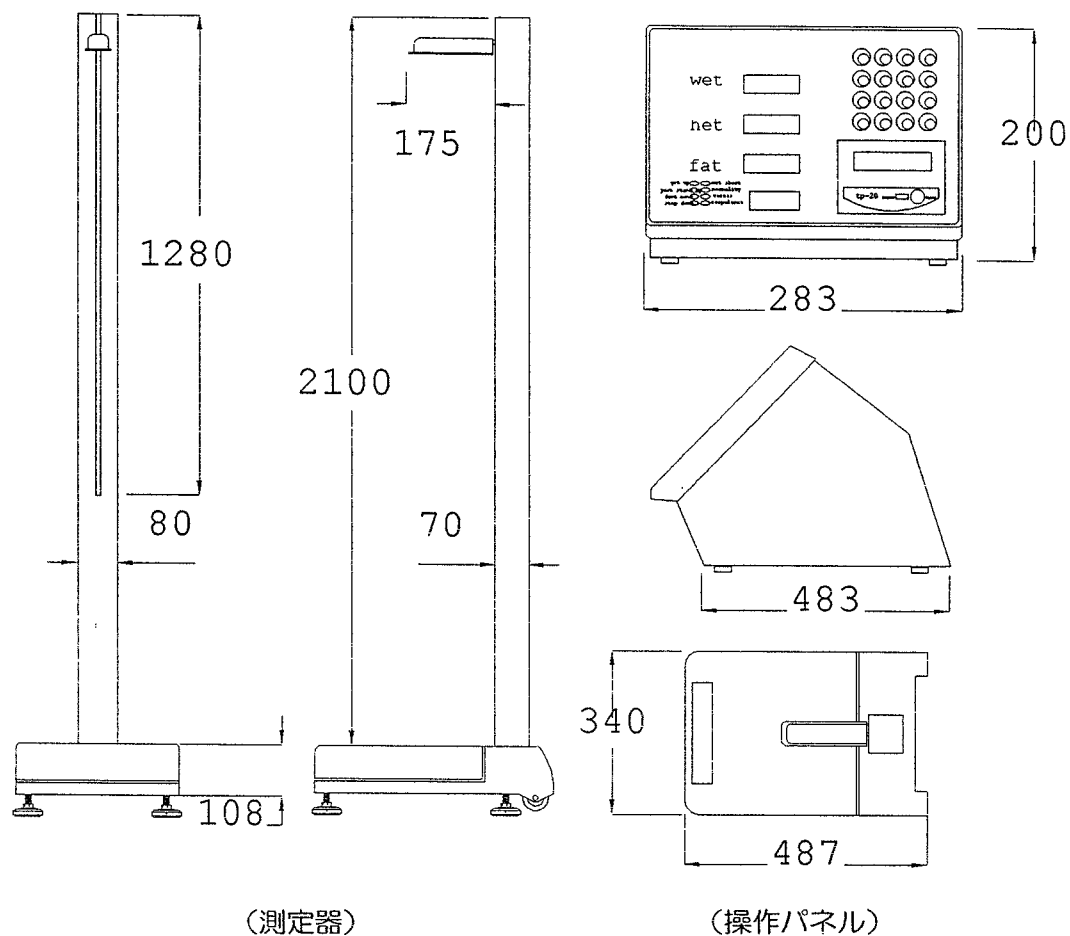
-  **注意** : 製品を損傷させないために
 - (1) 表示部、キー部を爪や先の尖ったもので押さないでください。
 - (2) 電源電圧、使用環境を遵守してください。
 - (3) ひょう量以上の物を載せないでください。
 - (4) 計量部に衝撃を与えないでください。
 - (5) 表示部または計量部に水をかけないよう注意してください。

-  **注意** : はかりの性能を維持させるために
 - (1) 振動を発生する器具類の近くに設置しないでください。
 - (2) 直射日光の当たる場所や冷暖房機の風が当たる場所には設置しないでください。
 - (3) 丈夫な床、台上に設置してください。
 - (4) 使用温度範囲（0～40℃）以外では使用しないでください。

-  **注意** : 当測定計は、計量法で定める取引き、もしくは証明に使用する事は出来ませんので、ご注意ください。

2. 製品構成と仕様

1) 製品構成



2) 製品仕様

- 電源電圧 : AC100V 50/60Hz
- 消費電力 : 待機状態時 4.8W
身長測定時 10W(プリンタを含む)
- 測定範囲 : 身長 85.0~200.0Cm 誤差 ± 1 mm
体重 5.0~200.0Kg 誤差 ± 0.1 kg
- 温・湿度 : 保管温度及び湿度 $-10^{\circ} \sim 50^{\circ}\text{C}$, 70% 以下
動作温度及び湿度 $0^{\circ} \sim 40^{\circ}\text{C}$, 60% 以下
- 測定方式 : 体重 - 電気抵抗線式ロードセル方式
身長 - エンコーダーカウンタ方式

3. ご使用前の準備・設置方法

ご使用になる前に、下記の点に注意の上、正しくお使いください。

1) 包装の解体

- (1) 衝撃を与えないよう、気をつけて包装を開けてください。
- (2) 包装を開けた後、付属品が全部揃っているか確認してください。

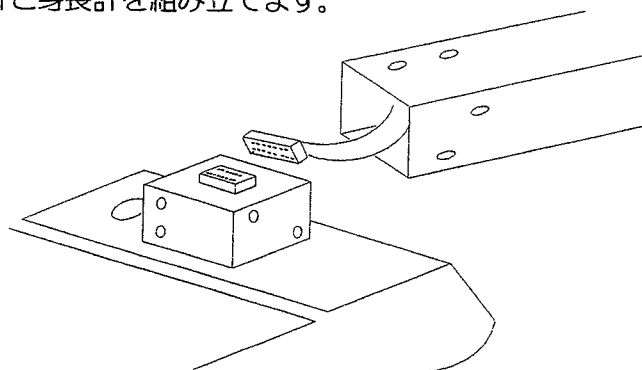
※ 付属品 - 操作パネル接続用ケーブル

- スペアヒューズ(250V/3A)
- 電源コード
- プリンタ用紙(2 ケー1 ケはプリンターにセット)

2) 設置方法

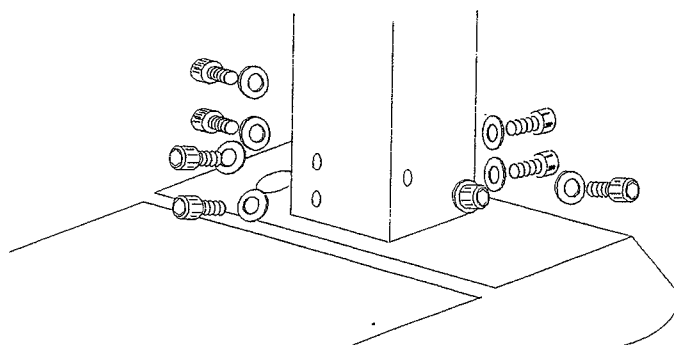
- (1) 設置条件に適している場所を選びます。
 - ☞ 風通しがよく、周囲温度の変化の少ないところ。
 - ☞ 直射日光が当たらず、湿気がないところ。
 - ☞ 設置する場所は平らで硬いこと。

- (2) 体重計と身長計を組み立てます。

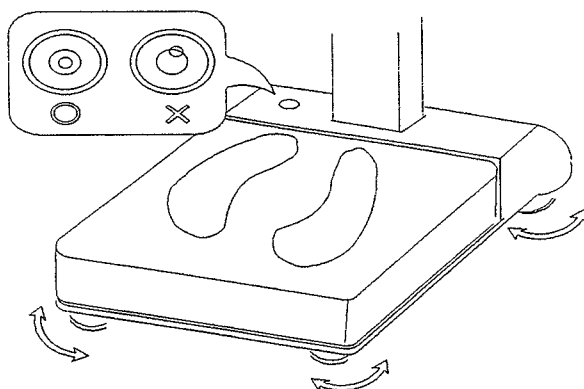


- (3) 身長計を体重計に立てた後、ボルトを締付けます。

* 組付け時、コネクターケーブルをはさまないように、注意してください。

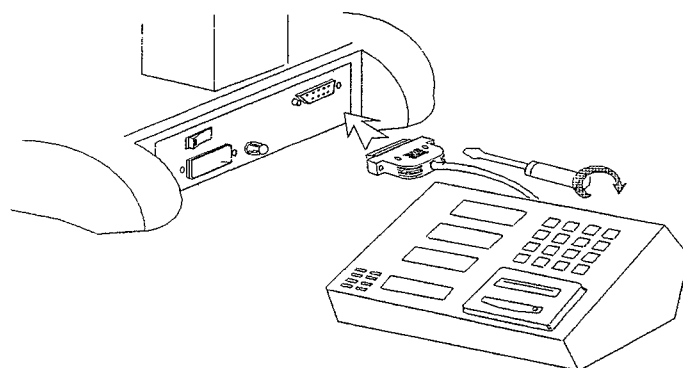


(4) 調整ネジを回し、機器を水平にします。

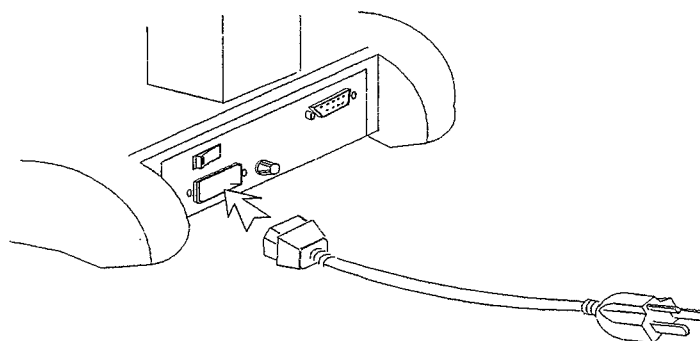


(5) 測定器と操作パネルを接続ケーブルでつなげます。

* コネクター両端のネジを締めてください。

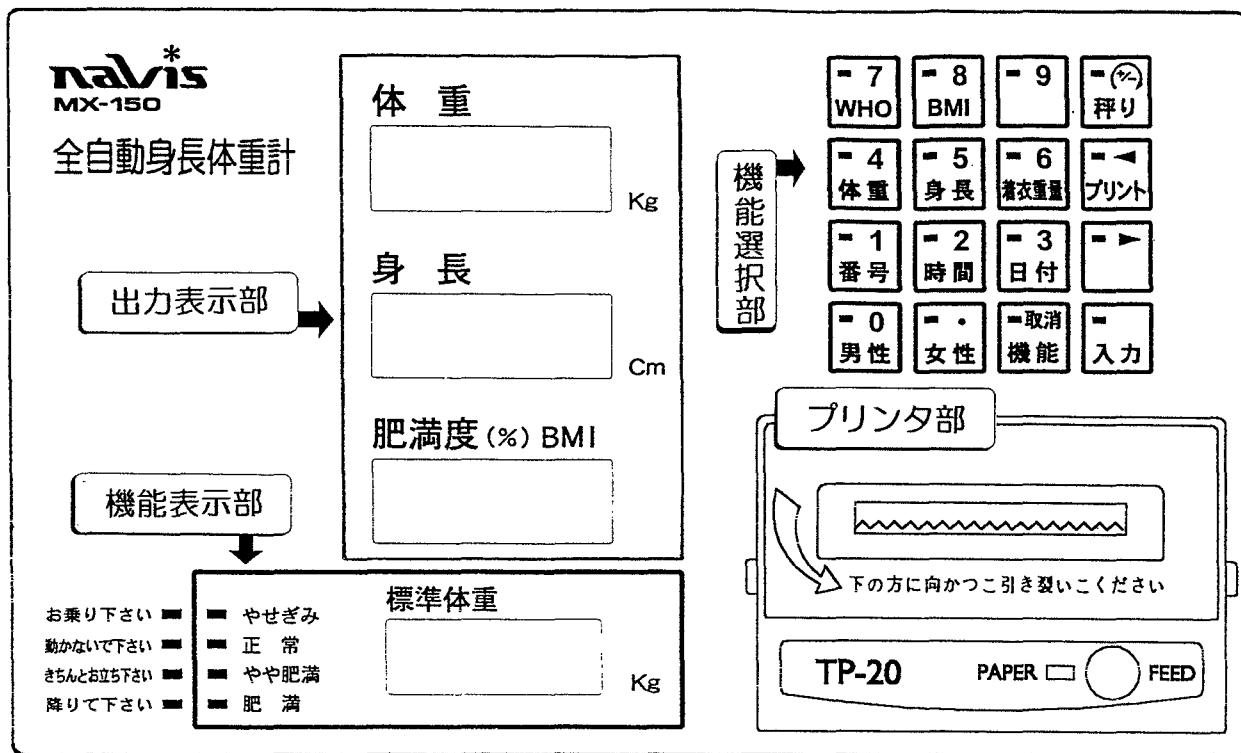


(6) 電源プラグを電源コンセントに確実に差し込みます。



3) 操作パネル

操作パネルの配置は、次の通りです。各機能の選択、表示及び出力は、説明書にしたがって操作を行ってください。



4) 測定準備

- (1) 再度ケーブルの接続を点検します。
- (2) 電源を入れます。
- (3) 身長測定バーが自己診断のため1回上下します。
- (4) 操作パネルの出力表示部に(0.0)が表示されます。
- (5) “お乗り下さい”のランプが点滅します。測定の準備ができました。

※ 工場出荷時の初期設定値

- 測定モード WHO、男性
- 秤モード OFF
- 機能表示 DATA (日付)
- ID 番号 00000001
- 出力装置 プリンタ ON
- 服の重さ 0.0Kg

4. 動作 モード

身長体重計の動作モードには、“測定モード”と“修正モード”の2種類があります。測定モードでは身長、体重などを測定したり、出力表示及び機能表示(日付、時間、ID 番号)を選択することが出来ます。また“修正モード”では各種の修正値(身長、体重、服の重さ等に対する補正)を入力したり、機能表示及び出力表示等に対する設定値の入力変更が出来ます。ただし、測定中は機能の選択は出来ません。

1) 機能

(1) WHO 測定

国際的にもっとも普及している方式です。体重と身長を測定し WHO の判定基準(男性・女性とも同じ基準を適用)に基づき標準体重及び肥満度(%)を計算し、その結果を操作パネルに表示します。

(2) BMI 測定

国際的に通用する体格指数です。日本肥満学会の判定基準に基づき、標準体重及び肥満度(指数)を計算し、その結果を操作パネルに表示します。

(3) 男性/女性の選択

“男性”または“女性”キーを押します。

☞ 選択された“男性”あるいは“女性”ランプが点滅します。

(4) 日付の表示

“日付”キーを押します。

☞ 機能表示部に日付が表示され、“日付”ランプがつきます。

(5) 時間の表示

“時間”キーを押します。

☞ 機能表示部に時間が表示され、“時間”ランプがつきます。

(6) ID 番号の表示

“番号”キーを押します。

☞ 機能表示部に ID 番号が表示され、“番号”ランプがつきます。ID 番号は、1 人の測定が終わると、自動的に 1 ずつ加算されます。

(7) プリント出力

“プリント”キーを押します。

☞ 一度押す度に測定結果のプリント出力/非出力が交互に選択されます。プリント出力が選択されると、“プリント”ランプがつきます。

(8) 秤

“秤”キーを押します。

☞ 服の重さや物体の重さなどを測定したい場合に選択します。
この時、身長計は動作しません。

5. 使用方法

1) 測定方法

身長体重計の測定モードとしては、“WHO” または “BMI” 方式の身長及び体重測定があります。測定に当たって、ご希望の方式を次の要領で選択をしてください。

(1) WHO 方式測定

- ① 現在の測定モードが“WHO 測定モード” でない場合は、“WHO” キーを押します。
(WHO ランプ点灯)
 - ☞ “お乗りください” のランプが点滅すると
- ② 被測定者の性別により“男性” または “女性” キーを押します。
また、測定結果をプリンタに出力したい場合は、プリント出力を選択します。
(プリンタランプが点灯)
- ③ 被測定者が台に乗ります。
- ④ “動かないてください” のランプがつきます。
- ⑤ 被測定者は体重測定のため、動かないで立ってください。
 - ☞ 被測定者が動くと、測定に時間がかかってしまいます。
- ⑥ 体重測定が完了すると、体重測定値が出力表示部に表示されます。
(この時、服の重さが設定されていれば、服の重さを減算して表示します。－ 設定方法は修正方法をご参照ください。)
- ⑦ “きちんとお立ち下さい” のランプがつきます。
- ⑧ 被測定者は身長測定のため、きちんとした姿勢を取ってください。
 - ☞ 身長測定バーが下降し、被測定者の頭に触れると自動的に上昇します。
 - ☞ 体重測定値と身長測定値また肥満度が出力表示部に表示され、標準体重は機能表示部に表示されます。
- ⑨ 判定結果を機能表示部のランプで知らせます。
 - ☞ “降りて下さい” のランプがつきます。
 - ☞ 被測定者は台より降ります。
 - ☞ 選択した機能により測定結果がプリンタに出力されます。
 - ☞ “お乗り下さい” ランプが再び点灯し、測定が待機中であることを知らせ次の測定が出来ます。
測定が完了してから約 40 秒間、結果値が表示されます。しかし、その間でも次の測定を行いたい場合は、台に乗る事で直ちに測定が可能です。

(2) BMI 方式測定

現在の動作モードが“BMI 測定モード” でない場合は、“BMI” キーを押します(BMI ランプ点灯)。測定モードの選択以外の使用方法は、WHO 測定モードと同様です。

2) 修正方法

次の機能を修正したい場合は、まず“機能”キーを 1 秒間押して測定モードを修正モードに変更し、修正したい機能キーを押します。

機能ランプは 0.5 秒置きで点滅し、10 秒以内にキー入力がないと、修正モードはキャンセルされます。

(1) 日づけ

- ☞ “機能” (1 秒)⇒ “日付” キーを押します。
- ☞ “日付” ランプが早く点滅し、
- ☞ 機能表示部に現在の日付が表示されます。
- ☞ 機能選択部の数字キーにより設定したい日付に修正した後、入力キーを押します。

※ 入力範囲：年=00～99、月=1～12、日=1～31 の順序で入力します。

(2) 時間

- ☞ “機能” (1 秒)⇒ “時間” キーを押します。
- ☞ “時間” ランプが早く点滅します。
- ☞ 機能表示部に現在の時間が表示されます。
- ☞ 機能選択部の数字キーにより設定したい時間に修正した後、入力キーを押します。

※ 入力範囲：時=01～24、分=00～59、秒=00～59 の順序で入力します。

(3) ID 番号

- ☞ “機能” (1 秒)⇒ “番号” キーを押します。
- ☞ ランプが点滅し、機能表示部に現在の ID 番号が表示されます。
- 機能選択部の数字キーにより設定したい ID 番号を入力します。

* ID.No の 8 桁の内、前の 4 桁は、団体または組織の固有番号であり、これを修正したい場合は、女性キーを選択して修正を行います。また残りの 4 桁は、測定者の固有番号で、これを修正したい場合は、男性キーを選択し

FATNESS MEASUREMENT	
=====	
ID.No	: 00000000
Sex	: Male

て行います。前の 4 桁と後ろの 4 桁は区分されており、前の 4 桁は加算されませんが、後ろの 4 桁は加算されます。

☞ 入力範囲：0001～9999

(4) 体重の零点調整

※ 秤モードで 0.0 でない数値が表示される場合、強制的に零点にセッティングするための機能です。

☞ 秤キーを押します。(体重表示部に 0.0 でない数値が表示される場合)

☞ 体重キー 4 を押します。(零点調整は秤モードの時だけ可能です。)

(5) 身長を加減算機能

※ 身長を測定する時に靴などが脱げない場合、身長の測定値を修正する機能です。

☞ “機能” (1 秒) ⇒ “身長” キーを押します。

☞ 機能表示部に基本値 “0.0” が表示されます。

☞ 減算したい数値を機能選択部の数字キーにより入力します。

(入力範囲は 0.0～5.0 です。)

☞ 入力キーを押します。

(例) 靴のかかとの高さを 1.0Cm とすると、キーで 1.0 を押してから、 を押し表示部に “-” を表示させた後、入力する。

(6) 服の重さの減算機能

☞ “機能” (1 秒) ⇒ “服の重さ” キーを押します。

☞ 機能表示部に基本値 “0.0” が表示されます。

減算したい数値を機能選択部の数字キーにより入力します。

(入力範囲は、0.0～5.0 です)

☞ 入力キーを押します。

(例) 夏には平均的に 0.5kg、春、秋は 1.0Kg、冬には 1.5Kg を目安として減算します。

6. 判定基準

：次のような基準に従って、判定をしております。

(1) WHO 判定式

$$\text{標準体重(Kg)} = [\text{身長(Cm)} - 100] \times 0.9 \quad \text{肥満度} = \frac{\text{測定体重(Kg)}}{\text{標準体重(Kg)}} \times 100$$

(2) BMI 判定式

$$\text{標準体重(Kg)} = \text{身長(M)} \times \text{身長(M)} \times 22 \quad \text{BMI} = \frac{\text{体重(Kg)}}{\text{身長(M)} \times \text{身長(M)}}$$

(3) 判定基準

肥満度判定

	WHO 判定基準	BMI 判定基準
やせ気味	89.9%以下	19.7 以下
正常	90.0～110.0 未満	19.8～24.2 未満
やや肥満	110.0～120.0 未満	24.2～26.4 未満
肥満	120.0%以上	26.4 以上

7. 案内及び判定ランプ

案内	表示ランプ	状況
お乗り下さい	●	測定待機状態
動かないで下さい	●	体重測定時に動く場合
きちんとお立ち下さい	●	身長測定直前
降りて下さい	●	測定完了
“やせぎみ”です	●	測定結果
“正常”です	●	測定結果
“やや肥満”です	●	測定結果
“肥満”です	●	測定結果

8. プリンタの様式

(1) WHO 測定様式

FATNESS MEASUREMENT	
ID. NO	: 00000000
Sex	: Male
Weight	: 000.0 Kg
Height	: 000.0 Cm
Fatness	: 000.0 %
Average	: 000.0 Kg
Over	: 000.0 Kg
Date	: 95.03.13
Time	: 18:00:00

タイトル

ID 番号(固有番号) 0001-9999
性別 Male(男性)/Female(女性)

体重
身長
肥満度

標準体重
やせぎみ/やや肥満 (*6)
日付
時間

(2) BMI 測定様式

FATNESS MEASUREMENT	
ID. NO	: 00000000
Sex	: Male
Weight	: 000.0 Kg
Height	: 000.0 Cm
BMI	: 00.0
Average	: 000.0 Kg
Over	: 000.0 Kg
Date	: 95.03.13
Time	: 18:00:00

タイトル

ID 番号(固有番号) 0001-9999
性別 Male(男性)/Female(女性)

体重
身長
体格指数

標準体重
やせぎみ/やや肥満
日付
時間

9. エラー処理

システムの自己診断または動作中にエラーが発生する場合は、機能表示部に該当するエラー番号が表示されます。この時は下記の事項を参照して処理をお願い致します。

表示内容	エラーの内容	処置の方法
表示が出ない。	測定器に電源が入っていない。	電源スイッチを切った後、電源コードの配線、ヒューズを点検する。
ERR-1	身長計の測定バーが上下の位置で動かない。	測定器と操作パネルをつなげるコネクターやケーブルを点検する。
ERR-2	身長測定値が正常でない場合。	測定器と操作パネルをつなげるコネクターやケーブルを点検する。
ERR-4	電源を印加した時、体重表示が(0.0)でない場合。	体重計の上に物が乗っていないかを確認した後、電源を入れ直す。
ERR-5	体重測定の際、測定値が大きすぎたり、正常でない場合。	電源を入れ直す。
ERR-6	プリンターが動作しない場合。	プリンタ出力が選択されているかを確認する。プリントボタンを押したり、電源を入れ直してみる。

※ エラーは再度電源を入れ直すか、“機能キー”を押せば再動作が可能です。上記処理を行っても正常に動作しない場合は、内部の異常ですので、ご購入先へご連絡ください。

10. アフターサービス

操作方法やトラブルに関してのお問い合わせは、ご購入いただきました販売店もしくは当社営業部までお願いいたします。